

# Narajaisc Special Edition

グローバル女性人材養成プログラム (ニュージーランド)

参加費の一部は  
廣岡栄子  
国際奨学金  
より補助しています



2/15-3/10の24日間、国際戦略センター(奈良女子大学)主催で、2024年度グローバル女性養成プログラム(ニュージーランド)を実施し、奈良女子大学から25名が参加しました。研修期間中、平日はリンカーン大学の English for Academic and Professional Purposes に参加し、また、期間中に開催された「Japan Fiesta in Christchurch 2025」に、今年度も出展参加しました。今年は「近畿地方」をテーマに、忍者体験、おせち紹介、御朱印作り、スタンプラリー、とグループに分かれ、学生自身で企画準備した内容で日本を紹介しました。滞在形式はホームステイで、ニュージーランドでの生活を体験することもできました。この特別号では、参加した学生の感想を紹介します。



## Q. 英語の授業を受講した感想を教えてください。

先生方がわかりやすく説明してくれたり教えてくれたりしたのでとても良い勉強になった。ライティングやリーディングは日本でもよくやっていたが、本場の英語を学ぶことは日本ではできないのですごくいい経験になりました。また、クラスメイトが多国籍でいろんな文化を学べたのも面白かったです。

先生方が非常にフレンドリーで、とても楽しく受講することができました。授業内では、挙手ではなく思ったことをどんどん言っていくスタイルで進んでいくため、毎時間、思ったことを発言しようという目標を立てて受講し、それを達成することができました。間違いを恐れることはなくなり、まずは声を出してみよう、という気持ちに変化していったように感じました。

予想していたよりも人が来て、御朱印とポストカードを喜んで体験してくださったので嬉しかったです。文化交流について学んだことはあっても、実際に自分がするということになかったため、その楽しさを知ることができてよかったですと思います。●日本に行ったことは無いけど日本が好き！っていう方達がいる、折り紙のボランティアに入った時にむしろ自分たちが教えてもらったことも印象的でした。また、事前準備の日に出店者側の方とも少しお話をして交流出来て楽しかったです。●おそらく人生で1番英語を喋った日で、身体も頭もとても疲れましたが、色んな国籍の人とコミュニケーションがとれたことに達成感や充実感がありました。このようなプロジェクトにまた参加したいと感じました。

## Q. ホームステイで、どのようなことを学びましたか？

授業以外でも英語を使うことができ、アカデミックではなく、日常の会話を学べたことがとてもよかったです。現地の生活を生で体験できたので、本当に貴重な時間でした。物凄く親切にしてくれて、本当の家族みたいでした。現地の食事や、習慣、カードゲームなどホームステイでなければ体験できない日々で毎日が刺激的でした。

ネイティブの家族ができたことが大きな意味のあることだと思います。ファミリーと話すなかでニュージーランドのこと、例えば食べ物のことやマオリのこと、おすすめの場所などたくさんを知ることができました。

## Q. 本プログラムに参加して、あなたが学んだこと、感じたことは何ですか？

私が今回の研修で学んだことは、英語は完璧じゃなくても何度も実践して上達していけば良いということ、色々なイベントやサークルに参加して本場の英語に多く触れることが大事かなと思いました。時制が間違ったり動詞が間違ったりしてても全然通じましたし、私は分からないことをその場で聞くことで、英語力を上げようと努力していました。自分の視野が本当に広がりましたし、初めての経験もたくさんできたし、美味しいものも食べられていい3週間でした。また、研修のための準備（スーツケースのパッキング方法、ビザ関係、飛行機に乗るまでの一連の流れ）などで学んだことも多くありましたが、英語力だけではなくこれから生活する中での知恵みたいなものを養えた気がします。よく海外に行ったら日本の良さに気付くと言いますが、クライストチャーチはいい街すぎてあまりそのギャップは感じませんでした。今後は英語を劣化させないようにアルバイト先で頻繁に使用したり、大学の留学生とお話ししたりしていきたいです。本当にいい経験になりました。

短期ではあったが、留学をすると自信や将来に対する展望が開くことを学んだ。自分が留学するにあたって大きな目標や目的を持っていなかったとしても、留学先でいろんな生き方をしている人に会って、話を聞いてこれまでの自分の過ごしてきた環境はほんの一部の過ごし方なんだなと気付かされた。学んだことは、上記のようなことで色々な人生の選択肢があるということと、自分で話せば話すほど人は寄ってくるし、助けてくれる、というあとは自分が話したいかと思うかどうかという言語の壁よりももっと根本的な気持ちも必要だと学んだ。

一ヶ月弱と短い期間だったが、初めての留学を通して毎日充実して学びの多い充実した時間を過ごせた。受験や机上の文法に集中した英語ではなく、実際に自分で考えて話し、生きた英語として、会話し交流することで自信も不安も両方持ちながら、少しずつ表現できることが増えていて楽しみながら学習できた。また、日本以外の価値観や文化に触れることで、常識だと思っていたものがそうでないと感じたり、まだ見たことのない世界が広がっていると実感した。今後は日本でもより一層英語学習に励んで英語力を伸ばし、留学し、多くの人と話し、異なる文化や価値観に触れたい。



奈良国立大学機構 国際戦略センター

NEWSLETTER グローバル女性人材養成プログラム(ニュージーランド)

特別号 2025年3月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736 Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp